

## オーソドックスな川遊び

「今 年の鮎はどうじやろか?」昭和橋の上から鮎の遡上を観察する人、通りがかった人が車から降りてきて一緒に川を覗き込む。あつという間に5~6人の調査隊ができる。鮎の遡上時期に見られる風景がここにある。

その昭和橋のすぐ上(かみ)の河原にふるさと交流センターがある。芝生が敷き詰められたキャンプ場は広々としているが、夏休みやゴールデンウィークともなるとテントがひしめくほど立ち並ぶ。



取材中、愛媛県から来たという若者が一人釣り糸を垂れていた。「この辺が気に入つて、月に一度位来ています。ここでこうやっていると、何となく落ち着くんですよ」と語ってくれた。

この若者のように、癒されるために人知れずここにやつて来る人って結構たくさんいるらしい。

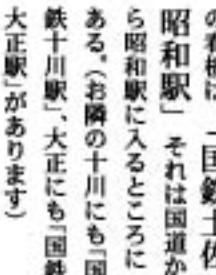
## 旧昭和村の「首都」

昭 和の町は国道沿いにある。保育園、小学校、中学校、診療所、福祉施設、郵便局、役場の出張所、公民館、数件の商店や工場など、生活の要が1町ほど距離の中にまとまっていて、旧昭和村の「首都」だったという雰囲気が今も感じられる。



## 国鉄土佐昭和駅

さて、ここ昭和には地元の人(特に都会の人)に人気の看板がある。以前新聞でも話題になつたことがあるその看板は、「国鉄土佐昭和駅」それは国道から昭和駅に入るところにある。(お隣の十川にも「国鉄十川駅」大正にも「国鉄大正駅」があります)



知つてゐようで  
知らない私たちの町 ③

# 昭和

川遊び盛んな旧昭和村の「首都」

